

# 布野中だより

平成30年2月13日(火)  
第10号  
三次市立布野中学校

## ～ 各種検定・コンクールへの応募・挑戦 ～

- ◇ **全生徒が何らかの資格取得や入賞(151枚の賞状)**  
(一人当たりの受賞平均5.03枚)
- ◇ **各種検定試験延べ受験率**  
(英語検定120%、漢字検定96.7%、数学検定33.3%)
- ◇ **三次市科学賞 布野小・中学校2年連続「学校賞」受賞**  
(市内中学校から県への推薦6校中 布野中から5推薦)

本年度、布野中学校では、「何事にも失敗を恐れず挑戦していくこと」を大切に、各種検定試験やコンクールに積極的に受験・応募してきました。各種検定試験では、惜しくも合格にならなかった人は弱点を克服して再度受験し、コンクールでは、先生から指導を受けた人は納得いくまで何度も書き直しをして応募をしてきました。生徒の頑張りで、全校生徒が何らかの資格取得や入賞という成果を得ることができました。現時点で、全校生徒分を合わせると151枚の賞状・資格がありますが、今後結果待ちの各種検定・コンクール等が何点かありますので、まだまだ増える可能性があります。このほかにも、運動部活動では28枚の賞状を手にしてしています。ここで生徒たちが学んだことは、つまずいたり、失敗したりしたことをそのままにせず、次に生かし改善していくことでより目標に近づくことができるということです。



科学研究  
「滑車を使った力」の研究

## つまずきはチャレンジの証

『人生において一度も“つまずかない”人間というのはいない。大きくつまずく場合もあれば、小さくつまずくときもある。つまずきの数だけ人間は大人になれるし、やさしくもなれる。』と言った人がいます。誰しも、過去につまずいたことをすっかり忘れて、優しさを忘れてしまっていることもあります。あまり嬉しいことではありませんが、何度でもつまずいた方がいいのかもしれない。もし、「自分につまずくことなどない」と思っている人がいるのなら、その人はチャレンジをしていないか、ちょっと運がいいくらいのことかもしれません。

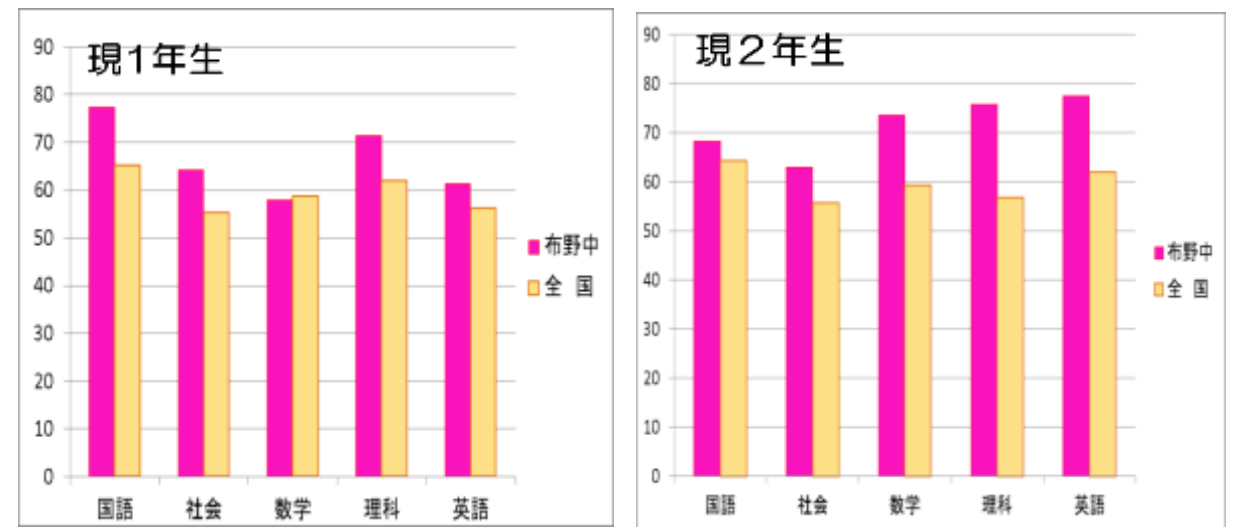
どの成功が今の自分を作り上げているのかはよく分からないけれど、どの失敗が今の自分を支えているかというのはわかる気がします。失敗は嫌な経験だけれど、なぜかよく覚えているものです。

そういうものを自分の中に持っていることは、しっかりとチャンレジしたという証拠、失敗という名の勳章みたいなものです。「失敗は成功のもと」とはよく言ったものです。早い遅いはあるにせよ、人は失敗やつまずきのたびに、何らかの形で新たなスタートをきっています。そういうスタートがされる機会を逃したくないものです。

## 平成29年度三次市学力到達度検査について

◇全国平均値に+9.5pt(10教科平均)

去る1月11日、12日に、三次市学力到達度検査(1・2年生)が実施されました。これは、生徒の基礎・基本の定着状況を把握するとともに、生徒の学力向上につながる授業及び生活づくりを進めることを目的に行われています。今年度の結果は次のとおりです。



本校の分析【1年生】	本校の正答率が高い主な問題の内容	本校の正答率が低い主な問題の内容
国語	・説明文の読み取り、漢字の読み書き	・資料をもとに話し合う
社会	・古代までの日本(飛鳥～平安時代)	・地球儀の特徴、複数資料をもとに判断
数学	・文字式の理解と表現	・一次方程式、比例・反比例
理科	・気体の性質	・ルーペの使い方、植物のからだのつくり
英語	・語形・語法の知識・理解	・場面に応じて書く英作文

本校の分析【2年生】	本校の正答率が高い主な問題の内容	本校の正答率が低い主な問題の内容
国語	・説明文の読み取り、漢字の読み書き	・文学作品の内容を読み取る
社会	・世界と比べた日本の地域的特色	・江戸時代の政治、様々な身分と生活
数学	・式の計算、図形の性質、1次関数	・同位角と錯覚の理解
理科	・化学変化、動物の分類と生物の進化	・酸化銀の分解、二酸化炭素を含んだ血液の流れ
英語	・語彙、語形・語法の理解、英作文	・リスニング(対話内容の聞き取り)

必ずしも1回の検査で正確に状況を把握することはできませんが、今後も、正答率が低かった領域や項目等を中心に分析を行い、授業を中心に一層の学力の定着を図ってまいります。